

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	施工管理技術	
科目基礎情報					
開設学科	電子・電気科	コース名	電気工事コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	60時限
単位数	4単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	本田堅一		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
この科目は、建設工事の施工技術の多様化が進んでおり、建設工事の円滑な施工を確保するために必要な、施工管理技術の重要性を理解することがねらいである。					
到達目標					
この授業では、2級電気工事施工管理技士検定試験の学科試験の合格を目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、建設業法に定められた営業所ごとに置く選任の技術者、工事現場に置く主任技術者となる資格を取得することを目指す。				
注意点	この授業では、過去に出題された問題を説明しながら、練習問題も解いていく。そのため、遅刻や欠席がないようにする。授業時間の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験により評価する		
	出欠席	20%	授業の出席業況により評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	電気理論		オームの法則と合成抵抗、電磁気現象、コンデンサを理解する		
2回	電気機械		変圧器、直流機と三相誘導電動機、同期機を理解する		
3回	電気応用		照明の基礎、電気加熱、電気化学を理解する		
4回	発電電設備		水車の種類、タービン設備、内燃力発電所、変圧器、遮断器等を理解する		
5回	送配電設備		架空送配電線、がいし、電力ケーブル、地中電線路の布設を理解する		
6回	構内電気設備		幹線、分岐線の施設、動力設備、接地工事の種類、高圧受電設備の構成を理解する		
7回	電気通信関係		構内交換設備、拡声設備、テレビ共同受信設備を理解する		
8回	電車線		電車運転設備、電車線路の施設、信号保安装置を理解する		
9回	機械設備関係		空調設備、換気設備、給排水設備を理解する		
10回	建築・土木関係		建築構造、コンクリート工事、掘削工事、測量を理解する		
11回	工事施工		屋外変電所の施工、自家発電設備の施工、引込線の施工、低圧屋内幹線の施工を理解する		
12回	工程管理		各種工程表、アロー形ネットワーク工程表の基本を理解する		
13回	建設業法		建設業の許可、施工技術の確保と請負契約を理解する		
14回	電気事業法関係		電気工作物等、電気工事士法、電気工事業法を理解する		
15回	労働設備安全衛生法		安全衛生管理体制、作業の安全確保を理解する		